



土地改良区が中心となった畠地帯における取組

糸満市地域農地・水・環境保全管理協定運営委員会（沖縄県糸満市）

- 本地域は、国営沖縄本島南部地区の受益地で、サトウキビをはじめ、ゴーヤ、レタス、にんじん、小菊の栽培が盛んな地域である。
- 活動組織は、市内の21土地改良区に関する12集落が参画する広域活動組織であり、糸満市土地改良区合同事務所内に事務局を設置し、各土地改良区の区域単位で実施される保全活動等の調整や事務作業を行い、集落の負担を軽減している。
- 海域の環境保全のため、土壤流出防止用の沈砂池の適正管理を行うとともに、農道や排水路の点検・補修等の取組や地元大学等と連携した保全活動を実施している。

【地区概要】

- ・取組面積 745ha
(畠745ha)
- ・資源量 開水路 47.9km、農道148.5km
沈砂池 118箇所
- ・主な構成員
自治会(12)、土地改良区(21)
- ・交付金 約21百万円(H29)

農地維持支払
資源向上支払(共同)

組織体制

- 土地改良区単位での活動組織を形成。
- 各土地改良区から選出される運営委員により、活動計画を策定。
- 広域化を契機に、糸満市土地改良合同事務所内に事務局を設置し、活動の調整や事務作業を実施。

活動内容

- 活動区域内には土壤流出防止のための沈砂池が118箇所あり、海域の環境保全のため、堆積物の撤去等の適正管理に取り組んでいる。

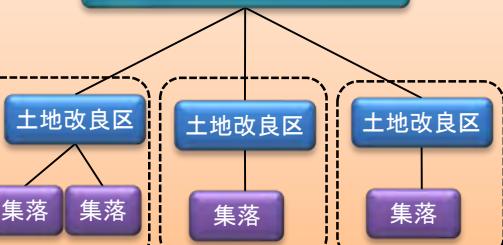


- 農道の草刈・補修(砂利補充)や排水路の点検・補修



糸満市地域農地・水・環境保全管理協定運営委員会

事務局(合同事務所内)



大学等との連携

- 活動を通じて、地域を担うリーダー育成や幅広い地域住民の参加の促進、地域への貢献を図るため、平成25年度より琉球大学農学部等と連携した現地検討会・ワークショップの開催や地元小学校への出前授業などに取り組んでいる。

琉球大学 農学部

糸満市地域農地・水
環境保全組織

連
携

自らの意思と知恵で地
域社会をリードする
未来対応型リーダー
の人材を育成！

関連機関との連携

- 土地改良区組合員や自治会、地元建設業や沖縄農業土木事業協会、沖縄県土地改良事業団体連合会、行政協力のもと、草刈り清掃等の作業を大人数で実施し、施設の維持管理や保全活動などに取り組んでいる。

建設業関連団体

糸満市地域農地・水
環境保全組織

保
全
活
動
の
共
同
実
施

施設の保全管理や景
観保全により
地域への貢献